

# ほっかいどうの社会保障

2020年6月12日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 公立・公的病院の再編統合を中止し、地域医療の充実 新型コロナウイルス感染症対策の強化を 北海道へ要請



6月10日、地域医療と公立病院を守る道連絡会は、北海道に「新型コロナウイルス感染症対応と道民のいのちと健康を守る地域医療の充実を求める」要請を行いました。

### 道内の市町村議会意見書決議は46議会に

北海道は、今年はじめ、地域医療構想を推進するための2020年度方針を作成しました。地域医療構想は、国の医療給付費削減のため入院ベッド数を削減する計画です。昨年、厚労省が公表した公立・公的医療機関の再編統合の道内の対象は54+αです。住民のいのちと健康を守っている公立・公的医療機関の再編統合に対して不安や反対の声は広がり、4月末現在で46市町村議会が、再編統合の

中止や地元の意見を尊重することなどを求める意見書が採択しています。道内でも新型コロナウイルス感染症対策の多くを公立・公的医療機関が担っています。今、求められるのは、医療機関の縮小廃止ではなく、充実です。

### 新型コロナウイルス感染症対策の強化を 医療機関の経営を守れ

道民のいのちと健康を守るために、保健所や衛生研究所、PCR検査体制、感染防御のためのマスクなどの充実とともに、医療機関や医療従事者の体制強化や医療機関の経営を支えることを強く求めました。

北海道民医連や北海道勤医協の代表は、感染の影響で、医療収益が大きく減少している実態を訴え、多くの医療機関が経営の存続が危ぶまれている、医療機関がなくなると、住民のいのちと健康は守れないと、支援を求めました。

### 新型コロナウイルス感染症対応と道民のいのちと健康を守る地域医療の充実を求める要望項目

1. 公立・公的病院に対する再編・統合を含む「再検証」を中止し、感染症などに即時対応することができる病床の確保と、住民のいのちと健康を守る公立・公的病院の役割をはたすことができる地域医療を拡充させること。
  - ①感染患者の受け入れを拡大するための病床確保、院内設備や医療機器などの補充・新設・整備に必要な予算を措置すること、また国に求めること。
  - ②市中感染の広がりを防ぐために、感染が疑われる人が保健所を通さず、PCR検査できるセンターを地域の医師会の協力も得て設置すること。PCR検査センターの設置や運営に関する予算を措置すること、また国に求めること。検査にあたる医師の手当や医師が診療所を休止するための補償の予算を措置すること、また国に求めること。
  - ③新型コロナウイルス感染症の拡大によって、多くの医療機関の医療収益が減少しています。また、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関は、一般患者の病床を減らし減収になっています。こうした減収分を全額助成できる予算を措置すること、また国に求めること。
2. 感染症対策の最前線となる保健所、地方衛生研究所などの公衆衛生にかかわる施設および、対応にあたる業務に従事する人員をただちに確保すること。感染リスクや住民対応などで、長時間労働や強いストレスにさらされる現場職員のメンタルヘルスなど健康管理についての対策を適切に講じること。
3. 新型コロナウイルスなど感染症にかかわって対応にあたるすべての現場で必要となるマスク、消毒液等の物資を十分に確保すること。

### 地域医療構想の検討は凍結中 大臣会見踏まえ今後検討

北海道の代表は、医療機関の経営の実態については他の団体からも聞いている。現在、補正予算も検討中。要請については、担当部局に伝え、後日回答するとのことでした。

地域医療構想については、今年はじめは推進する計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症対策を進めるため、凍結していると説明。6月5日の厚労大臣会見も承知しているので、今後検討していくと答えました。

### 6月5日 加藤厚労大臣会見（抜粋）

これから地域の医療構想を考えていく時にも、**感染症に対する対応を取り込みながら議論**していく必要があります。

時期は、まず**新型コロナウイルス感染症**に、地域で医療関係者も全力で取り組んでいただいておりますから、当然それを**最優先し、時期やすすめ方も改めていろいろな意見を聞きながら、整理**したい。